

大正十年  
十二月號

# 天 界

第一卷



## 第三十號

### 内 容

アインシタイン教授

アインシの相對原理(一)……………二五三

助教授理學士 山本 一 清

バーナム氏のこと……………二五九

京都大學 川崎 俊 一

天體一夜話……………二六三

岡山 平松 誠 一

珍らしい星座動物(圖入)……………二六五

マスタール・オプ 高松 孝 治

中村要氏の新發見……………二六六

ウインネケ彗星の軌道

報 要素……………二六六

對日照が見える……………二六七

外國天文學者近況一束……………二六七

同好會報(總會報告)……………二六八

特別附錄 天文語彙 (十二)

## 十 二 月 の 天 象

太陽 八日午前〇時、大雪節。二十二日午後

六時、人馬宮より磨羯宮に入る、冬至。

月 七日午後十時半、上半月(水瓶の北)

十五日正午、滿月(牡牛座との南)

廿二日午前五時、下半月(乙女の東南)

二十九日午後二時半、新月

水星 月初、曉星で天秤座を逆行、月末まで

に射手座まで来る。二十八日上合。總

じて觀測不能

金星 曉の星、太陽を追ふて天秤から射手

まで大旅行。九日には蠍座に近接。

觀測不便。

火星 乙女座を順行、毎夜半過ぎ出現。中

頃スピカ星と併立。二十四日、

月に近づく。

木星 乙女座 $\gamma$ から $\delta$ へ。毎夜半過ぎ東天に

出現。月末になるに従ひ觀望

に適す。直徑三十二秒。

土星 乙女座を順行、だんく $\gamma$ 星へ接近。

月末には夜半出現。木星と並んで

東天の名物星。

天王星 水瓶座の星の東から、尻を上げて、

そろく動き出す。月末までもま

だよく見える。

海王星 蟹座東端 $\pi$ 星の北を逆行し始む、肉

眼では駄目。

# 會 告

十二月例会 来る十二月二十日(土曜)午後七時、

京都市吉田町田中通、京都帝國大學學生集會所に於いて、例会を開き、左の講演の後、ストーヴを圍んで、天文の懇談を致します。

「星の種類」 助教授 山本 一 清氏

大正十年十一月二十四日 天文同好會

## 岡山講習會

愈々御多祥賀し奉ります、扱左記の要領で講習會を開催致します、何分天文學に關する講習會は岡山縣に於て最初の試みでありますから、何卒奮つて御申込の上科學の精華たる知識を得らるゝと同時に精神修養上に資せられんことを切望致します。

大正十年十一月 京都天文臺内 主催 天文同好會

### 記

- 一、會場 岡山市内山下 岡山市立商業學校
- 二、期間 大正十年十二月二十六日から二十九日迄四日間午前中
- 三、題目 「實際天文學」
- 四、講師 京都帝國大學助教理學士 山本 一 清君
- 五、會費金壹圓五拾錢也 但し天文同好會員は金壹圓也
- 六、申込期限 大正十年十二月二十日迄に往復ハガキで申込んで下さい
- 七、申込所 岡山市門田二十一番地天文同好會 岡山支部

又は 岡山市内山下岡山市立商業學校内 水野千里

Contents of THE HEAVENS No. 13.....edited by I. Yamamoto.	
Prof. A. Einstein(Frontispiece).....I. Yamamoto	Einstein's Principle of Relativity (I) .....S. Kawasaki, On Mr. S. W. Burnham.....S. Hiramatsu, An Evening with Stars.....T. Takamatsu, Interesting Animals of Constellations (Illustrated).....Mr. K. Nakamura's Discovery of a New Variable Star.....Project of a Japanese Observatory.....Orbital Elements of Winnecke's Comet.....Observations of the Counterglow(Gegenschein).....News of some foreign Astronomers.....Notes.....Reports (Annual Meeting of S. A. F.)
APPENDIX: T. Ebi, Astronomical Lexicon (11).	
Published by The Society of Astronomical Friends, Kioto University Observatory.	

觀測部設置

單なる星の眺めより一步進んで研究的貢獻をなさん  
ため、本會は觀測掛指導の下に來る十二月から

- (一) 流星部 部長 中村 要氏
- (二) 變光星部 部長 山本一清氏

の二部を置き、會員中の熱心家を募つて部員としま  
す。部員は部費として、ヶ月金五拾錢を納める義務  
があります、其の代り、實際觀測上、部長の熱心な  
指導を受け、又必要なる印刷物品を給せられ、尙無  
代で

ブレットン(Bulletin)——不規則な發刊物  
の配布を受ける特典があります。此のブレットンは天  
界の發行を待てない至急報で、必要に應じ月に幾度  
でも發行し、流星や變光星のみならず、彗星の發見  
や、遊星恒星の實際觀測や、尙其他、學界の最近消息  
を傳へるものであります。但し此のブレットンは全部  
英文でありますから、部員は其の資格として中學第  
三年級程度の英語を卒業したものでなければなりま  
せん。若し觀測部員でなくて、ブレットンを讀みたい  
人は、やはり毎月五拾錢を拂つて下さる必要があり  
ます。——希望者は往復ハガキで申込んで下さい。

大正十年九月二十五日

天文同好會

Kioto University Observatory

BULLETIN

大正十年十二月發刊

天文學上の内外至急報

天體觀測上の豫報と注意

同好會觀測部の觀測報告

京都大學  
天文臺  
ブレットン

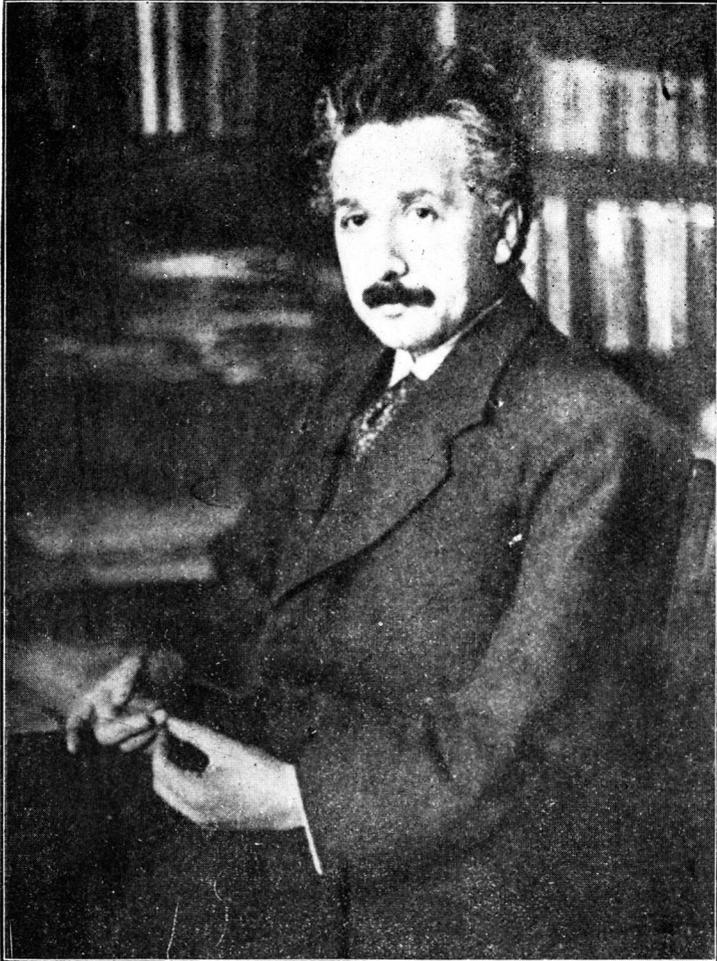
不規則發刊(月數回)

價毎月五拾錢前拂

天文同好會發行

大正十年十二月發刊

授教ンイタシンイア



Prof. Albert Einstein

編輯室より

我が「天界」も、さにかく之れで第一巻を終ることにします。印刷所の都合が悪くて、今年の前半期の編輯成績は、めちや／＼でありました。熱心な讀者諸氏から御注言や御叱りを度々頂きました。此等は皆つゝしんで御受け申します。そして來年からは手落ちのないやうに致します▲此の號から次の二三號にわたつて、山本氏のアインシュタイン相對原理を載せます。事柄は世間で評判の通り、すいぶん難解のもですが、此の文はなるべく平易に碎いてあります。又、少しづつ、讀んで、ゆつくりと全體の理論を了解して頂くやう、原稿の分量を、小出しにしました。多分、來年二月號で完結させよう。文章が簡結であり、ありますが、かな使ひの一字／＼までも注意した文でありますから、濁音符の有無まで、よく區別して讀んで頂げば、誰にもわかると思ひます。▲巻頭にはアインシュタイン教授の最近の肖像を掲げました。▲本號に始めて書いて頂いた川崎氏は、誠に、落付いた、情味の豊つたりとした筆付に感心させられます。讀んでゐる内に之れは科學者のかいた科學的の記

事ではなく、熟した藝術作品をよんでゐるやうな氣がします。泣きたいやうな、しんみりとした氣持で、故バーナム氏の追想をたどるやうです——今更、バーナムの死を悼む心を新たにします。同時に吾々は、こゝに名文家を一人發見した事へ喜びます。▲中村要氏の熱心な觀測は遂に報はれました。十一月三日の夜、氏がやつた新變光星の發見は、氏の名譽ばかりでなく、我が日本の天文學界のための稀な收穫であります。▲一昨年以來、京都大學天文臺の名を以つて、毎年一つづつ、新發見が世界に發表せられるのは愉快な事です。

事務室にて

別頁に報告した通り、今年總會の席上、會費納入に關して、規則の改正が行はれました。どうぞ、會員諸氏は、今後、半ヶ年なり、一ヶ年分なりの會費をまとめて、なるべく振替貯金で送つて下さい。雜誌に對する前金拂込として。——若し特別な事情によらずして送金して下さらない方には、遂に雜誌の送付を止すかもしません▲先般の集金郵便の會費は皆、大正十年九月分までのを頂戴したので、から、念のため、こゝに申して置きます。

大正十年十一月廿四日 印刷  
大正十年十一月廿五日 發行

天界第十三號 (定價金貳拾五錢)  
(郵税金 五厘)

京都帝國大學天文臺内

編輯兼 發行所 天文同好會

播磨貯金大阪五六七六五番

右代表者

山本 一清

印刷者 横田 秀三

京都市柳馬場通二條南入

印刷所 會社 京都日出新聞社

丸善株式會社

東京・京都・大阪・福岡・仙臺

賣捌所

岩波書店

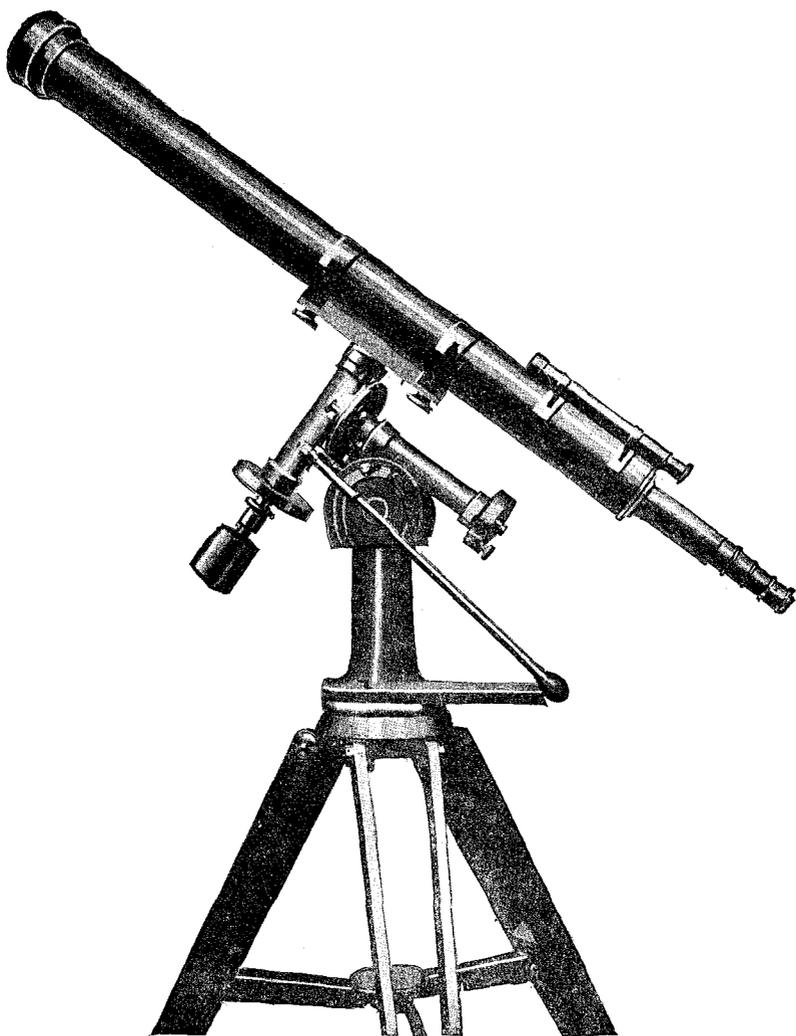
東京市神田區南神町一六

W. OTTWAY & CO. LTD.

ORION WORKS,

EALING, LONDON, W. 5.

望遠鏡の價は今や戰前に比し十割の暴騰をなせり、  
之れ一般同好者の堪ふる所に非ず、本社は此の欠陥を



補はんがために特別廉價と大勉強を以つて、廣く江湖  
の需要に應じつゝあり。(目錄無代進呈)

敦 倫 國 英

社 會 | エ ト ツ オ

Manufacturers